

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用回数	使用時期(日数)	赤衣病	赤星病	斑点葉	褐斑病	黒星病	黒点病	すすり病	すすり斑病	モニリア病	輪紋羽病	白紋羽病	紫紋羽病	うどんこ病	炭疽病	腐らんび病	灰色かび病	銀葉病	
I Cボルドー412FL	無機	M1	-	-	-		◎	◎	◎					◎	◎				◎				
Zボルドー水	無機	M1	-	-	-						◎	◎											
イオウFL	無機	M2	-	-	-													◎					
カリグリーン溶	無機	NC	1	-	-													◎					
クプロシールドFL	無機	M1	-	-	-						◎	◎											
クムラス顆水	無機	M2	-	-	-													◎					
コサイド3000DF	無機	M1	-	-	-		◎	◎			◎	◎		◎									
コロナFL	無機	M2	-	-	-													◎					
石灰硫黄合剤	無機	M2	-	-	-								◎					◎					
			*b	-	-	-				◎													
			*o	-	-	-															◎		
フルピカFL	A P	9	21	5		◎		◎					◎					◎					
ユニックス顆水47	A P	9	14	4		◎	◎	◎					◎					◎					
アンピルFL	DM I	3	7	3		◎	◎	◎					◎					◎					
インダーFL	DM I	3	14	3		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎					
オーシャイン水	DM I	3	7	5		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎					◎					
オーシャインFL	DM I	3	7	5		◎		◎					◎					◎					
オンリーワンFL	DM I	3	7	3		◎	◎	◎	◎	◎			◎					◎			◎		
サンリット水	DM I	3	7	3		◎	◎	◎	◎				◎					◎					
スコア顆水	DM I	3	14	3		◎	◎	◎	◎				◎					◎					
トリフミン水	DM I	3	1	3		◎	◎	◎										◎					
マネージDF	DM I	3	21	3		◎		◎										◎					
ルビゲン水	DM I	3	30	3		◎		◎										◎					
スクレアFL	Q o I	11	1	3					◎					◎	◎			◎					
ストロビーDF	Q o I	11	1	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎				
ファンタジスタ顆水	Q o I	11	1	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎				
フリントFL25	Q o I	11	1	4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎			
アフエットFL	アミド	7	1	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎					
オルフィンFL	アミド	7	7	3		◎		◎	◎				◎					◎			◎		
フルーツセイバーFL	アミド	7	1	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎			◎		
ポリオキシシナL水	抗生物質	19	3	3	◎		◎	◎										◎					
スミレックス水	ジカルボキシミト	2	90	4										◎									
ロブラール水	ジカルボキシミト	2	14	5				◎															

リンゴ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	赤衣病	赤星病	斑点葉病	褐斑病	黒星病	黒点病	すすり病	すすり斑病	モニリア病	輪紋病	白紋羽病	紫紋羽病	うどんこ病	炭疽病	腐らん病	灰色かび病	銀葉病	
ロブラール500アクアFL	ジカボキシミト	2		14	5			◎															
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		1	6			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		◎			
				*c	1											◎							
				*f	1												苗						
トップジンMペースト	ベンゾイミダゾール	1		*e	3									◎						◎			
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		1	4			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		◎			
				*j	-											苗							
アントラコール顆水	有機硫黄	M3		45	4			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ジマンダイセン水	有機硫黄	M3		30	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
チオノックFL	有機硫黄	M3		30	5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
トレノックスFL	有機硫黄	M3		30	5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ペンコゼブ水	有機硫黄	M3		30	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
オキシンドー水80	有機銅	M1		14	4			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
キノンドーFL	有機銅	M1		14	4			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ドキリンFL	有機銅	M1		14	4			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
バッチレート塗	有機銅	M1		*n	3	◎														◎	◎		
アリエッティ水	有機リン	P7		1	3			◎	◎			◎	◎										
リゾレックス水	有機リン	14		60	1													◎					
オーソサイド水80	他	M4		1	6			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
カナメFL	他	7	劇	1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					
ストライド顆水	他	M11		*d	3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎				
				*h	2					◎				◎									
ダコニール1000FL	他	M5		45	3			◎	◎					◎									
デランFL	他	M9	劇	60	3			◎	◎	◎	◎			◎	◎					◎			
パスポート顆水	他	M5		45	3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
パレード15FL	他	7		1	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎			◎		
フーモン乳	他	-		1	-													◎					
フジワン粒	他	6		*a	2												◎						
フロンサイドSC	他	29		45	1			◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎						
				*k	1											苗	苗						
				*L	1												苗	苗					
プロバティFL	他	50		3	2													◎					

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	赤 衣 病	赤 星 病	斑 落 葉 病	褐 斑 病	黒 星 病	黒 点 病	すす 点 病	すす 斑 病	モ ニ ア 病	輪 紋 病	白 紋 羽 病	紫 紋 羽 病	う ど ん こ 病	炭 疽 病	腐 ら ん び 病	灰 色 か 葉 病	銀 葉 病
バフラン液25	他	M7	劇	1	*g			○	○	○	○	○	○	○				○	○	○		
				*i						○			○					○	○			
				*o															○			
				*f	-													苗				
ベルコートFL	他	M7		1	*g			○	○	○	○	○	○	○	○							
オルフィンプラスFL	DMI・ア ミド	3・7		7	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○			○	
アスパイア水	DMI・有 機硫黄	3・ M3		30	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○				
スコアMZ水	DMI・有 機硫黄	3・ M3		30	3	○	○		○	○								○				
テーク水	DMI・有 機硫黄	3・ M3		30	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○				
ナリアWDG	QoI・ア ミド	11・ 7		1	3			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		
パンチョTF顆水	アミド・DM I	U6・ 3		7	2													○				
ラビライト水	ベンゾイカ ゾール・有 機硫黄	1・ M3		30	1			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		
ブロード水	有機硫黄・ DMI	M3・ 3		30	3	○	○		○	○			○					○				
セルカデイスDFL	他・AP	M9・ 7	劇	60	3	○	○	○	○	○			○	○				○	○			
ポリベリン水	他・抗生物 質	M7・ 19		3	3			○	○	○		○	○					○				
オキシラン水	他・有機銅	M4・ M1		14	4			○	○	○	○	○	○	○	○				○			
ビオネクトFL	他・有機銅	-・ M1		14	4			○	○	○		○	○	○	○				○			
アリエッティC水	他・有機リ ン	M4・ P7		1	3			○	○	○		○	○	○	○				○			
ダイパワー水	他・他	M7・ M4		1	*g			○	○	○	○	○	○	○	○				○			

\*a:落花直後まで \*b:発芽前 \*c:休眠期～生育期 \*d:開花～収穫前日まで  
 \*e:剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後(ゆ合促進) \*f:植付前  
 \*g:6回以内(但し開花期以降散布は3回以内) \*h:開花前まで  
 \*i:展葉期 \*j:植付直前 \*k:植付時 \*l:植付後(但し収穫開始1年前まで)  
 \*n:剪定時及び病患部削り取り直後(ゆ合促進)  
 \*o:休眠期 苗:苗木

リンゴ（果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる）

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 （日 数）	使 用 回 数	ア	リ	カ	カ	ケ	シ	モ	ナ	キ	ギ	シ	ス	モ	カ	ハ	リ	ソ	
						ブ	ゴ	メ	メ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
エスマルクDF	B T	11A	*c	-						◎						◎◎							
デルフィン顆水	B T	11A	*c	-						◎						◎◎							
バシレックス水	B T	11A	*c	-						ケ						◎							
ファイブスター顆水	B T	11A	*c	-						◎						◎◎							
スピノエースFL	ｽﾍﾞﾝｼﾞﾝ	5	3	3							◎		◎		◎								
バイオセーフ	天敵生物	-	*i	-																◎			
ハマキ天敵	微生物	-	*e	-												リ							
コロマイト乳	ﾏｺﾗｲﾄﾞ	6	1	1	ユ									◎								◎◎	
サンクリスタル乳	天然物由来	-	1	-																		◎	
スプレーオイル	天然物由来		*j	-				◎															越
			*d	-																			◎
ハーベストオイル	天然物由来		*d	-																			◎
			*j	-				◎															
アタブロンSC	I G R	15	7	4					◎							◎ヨ							
アブロードFL	I G R	16	30	2			幼																
カスケード乳	I G R	15	14	2										◎◎◎	◎◎	ヨ							な
ノーモルト乳	I G R	15	1	2						ヒ	◎◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	ヨ							
ファルコンFL	I G R	18	21	3						◎						◎ヨ							
マッチ乳	I G R	15	14	3											◎	◎							
マトリックFL	I G R	18	14	2						◎						◎ヨ							
ロムダンFL	I G R	18	1	2						◎						◎◎							
オリオン水40	ｶｰﾊﾞﾐｰﾄ	1A	劇	1	2	◎	◎		◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎								ガ オ
カネマイトFL	殺ダニ	20B	7	1																			な
サンマイト水	殺ダニ	21A	劇	21	1																		な◎
スターマイトFL	殺ダニ	25A	1	1																			◎
ダニオーテFL	殺ダニ	33	1	1																			◎
ダニゲッターFL	殺ダニ	23	1	1																			な◎
ダニコングFL	殺ダニ	25B	1	1																			◎
ダニサラバFL	殺ダニ	25A	1	2																			◎
ダニトロンFL	殺ダニ	21A	30	1																			な◎
ニッソラン水	殺ダニ	10A	7	2																			な
バロックFL	殺ダニ	10B	14	2																			な
ピラニカ水	殺ダニ	21A	劇	14	1	ユ																	◎◎
マイトコーネFL	殺ダニ	20D	1	1																			な
モベントFL	殺ダニ	23	14	3	◎◎◎	◎◎◎																	◎◎

リンゴ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ゴ ワ ラ タ ム シ 類	リ ン ゴ ワ ラ タ ム シ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	ケ メ ム シ 類	シ ン ク イ ム シ 類	モ シ ン ク イ ム シ 類	ナ シ ヒ メ シ ン ク イ ム シ 類	キ ン モ ン ホ ソ ガ ガ 類	ギ ン モ ン ハ モ グ リ ガ ガ 類	シ ヤ ク ト リ ム シ 類	ス カ シ ム シ 類	ヒ メ ボ ツ ク ト ウ シ 類	モ モ チ ヨ ツ キ リ ソ ウ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ シ ダ ニ ダ ニ 類	リ ン ゴ サ ビ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫	
																							劇
エクシレルSE	ジ <sup>o</sup> アミ <sup>o</sup>	28		1	3				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					ボ
サムコルFL10	ジ <sup>o</sup> アミ <sup>o</sup>	28		1	3				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					オ
テッパン液	ジ <sup>o</sup> アミ <sup>o</sup>	28		1	2				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					ボ
フェニックスFL	ジ <sup>o</sup> アミ <sup>o</sup>	28		1	2				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					オ
ヨーバルFL	ジ <sup>o</sup> アミ <sup>o</sup>	28		1	2				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					ボ
ディアナWDG	ス <sup>o</sup> ノソ <sup>o</sup>	5		1	2				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					ガ
アクタラ顆溶	ネ <sup>o</sup> コチノイ <sup>o</sup>	4A		7	2	◎	◎	コ	◎	◎	◎	◎	◎	◎									
アドマイヤー顆水	ネ <sup>o</sup> コチノイ <sup>o</sup>	4A	劇	*	2	◎	◎		◎				◎	◎									
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	ネ <sup>o</sup> コチノイ <sup>o</sup>	4A		1	3	◎		コ	◎	◎	◎	◎	◎	◎									
ダントツ溶	ネ <sup>o</sup> コチノイ <sup>o</sup>	4A		1	3	◎	◎	コ	◎	◎	◎	◎	◎	◎									こ
バリアード顆水	ネ <sup>o</sup> コチノイ <sup>o</sup>	4A	劇	1	3	◎	◎	コ	◎	◎	◎	◎	◎	◎									
モスピラン顆溶	ネ <sup>o</sup> コチノイ <sup>o</sup>	4A	劇	1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					ギ
MR. ジョーカー水	ビ <sup>o</sup> レスロイ <sup>o</sup>	3A		14	2				◎	◎	◎	◎	◎	◎									
アーデントFL	ビ <sup>o</sup> レスロイ <sup>o</sup>	3A		1	3	◎			◎	◎	◎	◎									◎		
アディオン水	ビ <sup>o</sup> レスロイ <sup>o</sup>	3A		14	2	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					
スカウトFL	ビ <sup>o</sup> レスロイ <sup>o</sup>	3A	劇	1	5	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎									
テルスター水	ビ <sup>o</sup> レスロイ <sup>o</sup>	3A		1	1	◎				◎	◎	◎	◎										な
ベ <sup>o</sup> ニカミキリムシエア <sup>o</sup> ゾル ロビンフッド	ビ <sup>o</sup> レスロイ <sup>o</sup>	3A		1	5												◎	◎		◎			
マブリック水20	ビ <sup>o</sup> レスロイ <sup>o</sup>	3A	劇	30	2	◎			ヒ	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎					な
ロディー水	ビ <sup>o</sup> レスロイ <sup>o</sup>	3A	劇	1	2	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎									な
クラブFL	フェニルビ <sup>o</sup> ラゾ <sup>o</sup> ール	2B		14	2	◎			◎		◎	◎	◎										
サイアノックス水	有機リン	1B		14	1	◎	◎	ク	◎	◎	◎	◎	◎	◎									オ
スブラサイド水	有機リン	1B	劇	30	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	カ								
スミチオン水40	有機リン	1B		30	3	◎		ク	◎	◎		◎	◎	◎									ス
スミチオン乳	有機リン	1B		30	3	◎		ク		ア	◎	◎		◎									グ
ダイアジノン水34	有機リン	1B	劇	30	4	◎	◎	若		モ	◎	◎	◎	◎	フ			ゾ					グ
マラソン乳	有機リン	1B		14	*f	◎	◎	◎			◎	◎		◎							◎		
ウララDF	他	29		14	2	◎	◎																
コテツFL	他	13	劇	1	2								◎		◎	ヨ						ナ	み

リンゴ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	ア	リ	カ	ケ	シ	モ	ナ	キ	ギ	シ	ス	モ	カ	リ	ソ
					ブ	ゴ	メ	ム	シ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
コルト顆水	他	9B	1	3	◎	◎	◎												
トランスフォームFL	他	4C	1	3	◎	◎	◎	ミ											
フーモン乳	他	-	1	-															◎
トラサイドA乳	有機リン・有機リン	1B・1B	*a																◎
			*h	3															

- \*a:産卵初期～産卵最盛期直前(但し収穫30日前まで)
- \*b:収穫3日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)
- \*c:発生初期(但し収穫前日まで)
- \*d:芽出し直前直後又は展葉期(発芽後2週間まで)又は展葉期(発芽後3週間まで)
- \*e:発生初期 \*f:5回以内(但し休眠期から芽出し直後までは1回以内)
- \*h:4～7月(但し収穫30日前まで)
- \*i:幼虫発生期
- \*j:発芽前
- ア:アメリカシロヒトリ
- オ:オオタバコガ
- カ:ハマキムシ類(コカクモンハマキを除く)
- ガ:キリガ類
- キ:キクイムシ類
- ギ:キリガ類及びコガネムシ類成虫
- ク:クワコナカイガラムシ
- グ:ナシグンバイ
- ケ:アメリカシロヒトリ及びヒメシロモンドクガ
- コ:コナカイガラムシ類
- ス:リンゴススムシ
- ゾ:リンゴハナゾウムシ
- ナ:ナミハダニ
- ヒ:ヒメシロモンドクガ
- フ:リンゴフユシヤク
- ボ:オオタバコガ及びコガネムシ類
- ミ:コアオカスミカメ
- モ:モンシロドクガ及びアメリカシロヒトリ
- ユ:ユキヤナギアブラムシ
- ヨ:ヨモギエダシヤク
- リ:リンゴコカクモンハマキ
  
- こ:コガネムシ類成虫
- な:ナミハダニ及びリンゴハダニ
- み:ミノガ類
- 越:ハダニ類及びハダニ類の越冬卵
- 若:クワコナカイガラムシ及びオオワタコナカイガラムシの若齢幼虫
- 幼:幼虫

リンゴ

## リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
赤星病	開花直前～ 6月中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 オンリーワンフロアブル● 2000倍 ジマンダイセン水和剤 500～600倍 スコア顆粒水和剤● 3000～4000倍 トレノックスフロアブル 500倍	病原菌はバクシン類で越冬し、翌春の第一次伝染源となる。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
斑点落葉病	5月下旬 (落花10日後)～9月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アリエッティC水和剤 800倍 アンビルフロアブル● 1000倍 キノンドーフロアブル 800～1000倍 ストロビードライフロアブル● 1500～3000倍 トレノックスフロアブル 500倍 フロンサイドSC 2000～2500倍 ベルコートフロアブル 1000～1500倍 ポリオキシシNAL水和剤 1000倍	前年の被害落葉が重要な伝染源となる。 デリシヤス系の品種で9～10月に大発生することがあるので注意する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
炭疽病	6月 ～収穫期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アリエッティC水和剤 800倍 オキシラン水和剤 500～600倍 キノンドーフロアブル 800～1000倍 ストライド顆粒水和剤 1500倍 ストロビードライフロアブル● 2000～3000倍 デランフロアブル 1000～2000倍	6月中旬～7月中旬が重点防除時期である。 高温多湿の年に発生が多い。 被害果の処分を徹底する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
白紋羽病	植付前 (苗木)	・次の薬剤のいずれかに根部を浸漬する。 トップジンM水和剤#1 500倍液 ベンレート水和剤#2 1000倍液	#1 10分間 #2 10～30分間
	休眠期	・根を露出した後、病患部を削りとり、次の薬剤のいずれかを土壌灌注する。 トップジンM水和剤 500～1000倍 フロンサイドSC 1000倍 100～200ℓ/樹 500倍 50～100ℓ/樹	

## リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
紫紋羽病	苗木植付前 生育期	・植付前に次の薬剤に根部を浸漬する。 ベフラン液剤25 250倍 ・次の薬剤のいずれかを土壤灌注する。 リゾレックス水和剤 1000倍 40ℓ/樹 フロンサイドSC 1000倍 100～200ℓ/樹 500倍 50～100ℓ/樹	
うどんこ病	6月上旬～ 9月下旬	1.被害新梢、被害花(葉)そうを摘みとる。 2.次の薬剤のいずれかを散布する。 ポリベリン水和剤 1500倍 ポリオキシソル水和剤 1000倍 アンビルフロアブル● 1000～2000倍 ストロビードライフロアブル● 3000倍 トリフミン水和剤● 2000～3000倍 マネージDF● 4000～6000倍	芽に潜伏する越冬菌糸が伝染源となる。 台木にも発生が多いので注意する。  ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
アブラムシ類 (リンゴコブアブラムシ・ユキヤナギアブラムシ)	4月中旬～ 6月中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオオン水和剤 2000～3000倍 アドマイヤー顆粒水和剤*a 5000～15000倍 スミチオン乳剤 1000～2000倍 テルスター水和剤 1000倍 マブリック水和剤20 2000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍	*a露地栽培については発芽期から開花期を除く
リンゴワタムシ		・次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤー顆粒水和剤*a 5000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍	*a露地栽培については発芽期から開花期を除く



## リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
クワコナカイガラムシ	冬期 6月上 ～下旬	・粗皮削りを行う。 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 アルバリン顆粒水溶剤#1 2000倍 サイアノックス水和剤 1000倍 スタークル顆粒水溶剤#1 2000倍 スミチオン乳剤 1500倍 ダイアジノン水和剤34#2 1000～1500倍 モスピラン顆粒水溶剤#3 4000倍	#1コナカイガラムシ類での登録 #2若齢幼虫に適用 #3カイガラムシ類での登録
カメムシ類	6～7月	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 800～1000倍 MR. ジョーカー水和剤 2000倍	
ナシゲンバイ	8月上 ～中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤 1000倍 ダイアジノン水和剤34 1000～1500倍	
シンクイムシ類		・次の薬剤のいずれかを散布する。 サイアノックス水和剤 1000倍 ノーモルト乳剤 2000倍 ヨーバルフロアブル 5000～10000倍	
モモシンクイガ		1. 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA*、またはコンフューザーR*を設置する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 800～1200倍 ダイアジノン水和剤34 1000倍 テルスター水和剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000～4000倍	樹冠が混み合っていると発生しやすい。 *果樹類での登録 昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。 #シンクイムシ類での登録
ナシヒメシンクイ	6月下旬	1. 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA*、またはコンフューザーR*を設置する。 2. 次の薬剤を散布する。 ダイアジノン水和剤34 1000倍	*果樹類での登録 昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ギンモンハモグリガ	6月下旬 8月上中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 500～1000倍 テルスター水和剤 1000倍 ノーモルト乳剤 4000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍 ヨーバルフロアブル 5000～10000倍	
ハマキムシ類(ハマキガ類)	整枝剪定後(冬期) 4月下旬～ 9月下旬	・剪定枝は越冬幼虫や卵がついているので、萌芽までに処分する。 1. 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA*、またはコンフューザーR*を設置する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオオン水和剤 2000倍 サイアノックス水和剤 1000倍 スピノエースフロアブル 2000～3000倍 スミチオン乳剤 1000倍 ダイアジノン水和剤34 1000～1500倍 テルスター水和剤 1000倍 ファイブスター顆粒水和剤 2000～3000倍 マトリックフロアブル 1000～2000倍	*果樹類でリンゴコカクモンハマキ、リンゴモンハマキ、ミダレカクモンハマキに登録昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。
モモチョッキリゾウムシ	落花直後	・次の薬剤を散布する。 アディオオン水和剤 2000倍	
カミキリムシ類	6～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)	・次の薬剤を樹幹部に十分散布する。 トラサイドA乳剤 200倍	

## リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハダニ類 (リンゴに 加害するハ ダニ類には ナミハダニ とリンゴハ ダニが含ま れる。リン ゴサビダニ の登録は別 であること に注意)	4月中旬～ 5月中旬	・次の薬剤を散布する。 ダニトンフロアブル#1、#2 1000～2000倍	4月中旬はハダニの 第1回発生期に当たる ので注意する。 殺ダニ剤は、同種 のものを続けて使用しな い(ハダニ類防除薬剤 の項参照)。
	7月上旬～ 8月下旬	・次の薬剤のいずれかを散布す る。 カネマイトフロアブル#2 1000～1500倍 ニッソラン水和剤#2 2000～3000倍 バロックフロアブル#2 ナミハダニ 2000倍 リンゴハダニ 2000～3000倍 マイトコーネフロアブル#2 ナミハダニ 1000～1500倍 リンゴハダニ 1000倍	#1リンゴサビダニには 2000倍で登録 #2ナミハダニおよびリ ンゴハダニでの登録
その他の病害虫		リンゴスガ、サビダニ類、シャクトリムシ類	